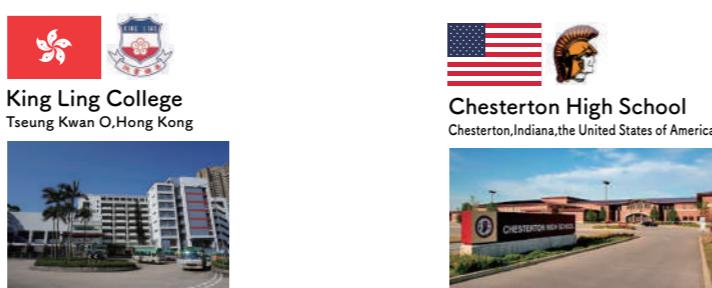


国際高の姉妹校
TUINS High School Sister School Network



「ユネスコスクール」に認定された、富山県初の高校です。

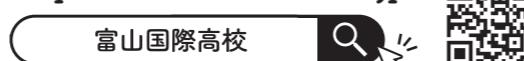
ユネスコスクールは、ユネスコ憲章に示された、「平和や国際的な連携を、学校での実践を通じて促進すること」を目的に設けられました。国際高の取り組みが認められ、富山県初のユネスコスクールとして、2012年に認定されました。



WEBサイトも
CHECK!

より豊かで楽しいスクールライフのために
いろいろな情報を載せています。

<https://www.tuins-h.ed.jp/>



〒930-0175 富山市願海寺水口444番地
TEL 076-434-0577 FAX 076-434-1974
E-mail info@tuins-h.ed.jp



令和8年度 入学案内



Be a Global Citizen!

21世紀型学力

「分析→問題発見→解決→発信」する力

グラデュエーション・ポリシー

Ko 課題解決力

Ku コミュニケーション能力、行動力

Sa しなやかな心(寛容性と対応力)

I 異文化理解と多文化共生力

目標す力 「KoKuSalの資質」を育てる

カリキュラム・ポリシー

国際高といえばICT教育と国際教育

育成する力

批判的思考力

世の中のことを自分事として捉えて批判的に考察する

考え方抜く姿勢

問題を解決するための独自の意見や考え方を形成する

実践力

考え方を発言し、他者との関係を形成し、協働して実現する

Ko 教科学習、課題研究 Ku 課外活動、国際交流

Sa SDGsの視点に立った日常的な思考活動 I ICT教育

「KoKuSalの仕掛け」で

アドミッション・ポリシー

求める生徒像

- ・知的好奇心が旺盛な生徒
- ・地球規模の諸問題に興味がある生徒
- ・国際的に活動したいと思う生徒

国際高はSDGsへの取組みを実践し、グローバルな視点を身につけ、「新・国際人」として新しい扉を開きます。

SDGs (Sustainable Development Goals) とは、持続可能な開発目標のことです。国連サミットで193すべての加盟国が合意した、2030年までに達成すべき課題とその具体目標を定めたものです。国際高でも生徒自身がSDGsに意識的に取り組んでいます。エントランスに設置されているSDGsパネルの17の目標の下には、国際高の取り組み目標が示されており、SDGsをより身近な「自分事」として捉え、実践してほしいという願いが込められています。

学校目標について
詳しくはこちる
国際高Webサイト



国際高は富山県の高校で
唯一のユネスコスクール
*2012年認定



未来を生きる力を育てるICT教育。
学びを支える最新の設備と環境が整っています。

生徒・先生全員がiPadを積極的に授業で活用しています。

*タブレット購入のための奨学金制度もあります。

詳しくは別紙募集要項の「ICT教育促進のための奨学金制度」をご覧ください。



全校生徒約900名が同時接続可能な高速Wi-Fi環境が整っています。

未来の夢をつかむ、3つのコースがあります。

国際英語
コース

英語で自己表現できるコミュニケーション能力を身につけ、「真の国際人」をめざすコース

特進
コース

独自のカリキュラムで国公立大学や難関私立大学への現役合格をめざす精鋭コース

フロンティア
コース

基礎学力を重視し、自ら学び多様な進路や人生を開拓する人材を育むコース

INDEX

国際高について

1-2

カリキュラム
進学実績・SDGsと課題探究

3-4

国際英語コース

5-6

特進コース

7-8

フロンティアコース

9-10

国際交流プログラム
国際交流実績

11-12

部活動

13-14

学校生活

15-16

校舎ガイド

17-18

ICT教育

19-20

アクセス
国際高の1日・学園内併設校

21-22

将来の進路の可能性を広げるカリキュラム

各コースとも一人ひとりの生徒の可能性を伸ばす、きめ細かい授業を展開しています。

※令和7年7月現在

国際英語コース		2年次は留学による一括認定もあり、希望する進路に合わせ英語教育に特化したカリキュラムです。																											
時間数	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33	国語	現代の言語文化	地理総合	歴史総合	数学I	数学II	数学A	化学基礎	地学基礎	体育	保健	音楽I 美術I 書道I	英語コミュニケーションI	表現I ・	グローバル・スタディーズ	情報I	※国際高リサーチ プロジェクト	HR										
1年																													
2年	英特	論理国語	古典探究	古語演習	国語	地理探究	日本史探究	公共	数学II	数学B	数学C	生物基礎	体育	保健	英語コミュニケーションII	表現II ・	グローバル・スタディーズ	家庭基礎	※国際高リサーチ プロジェクト	HR									
3年	留特	論理国語	古典探究	古語演習	国語	地理探究	日本史探究	政治・経済	数学B	数学C	数学演習	科学演習	情報演習	体育	英語コミュニケーションIII	表現III ・	グローバル・スタディーズ	プロジェクト	※国際高リサーチ プロジェクト	HR									

留学による一括認定

特進コース		国公立大学や難関私立大学の突破をめざす、精選した独自のカリキュラム。2年次より文系と理系に分かれます。																										
時間数	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33	国語	現代の言語文化	地理総合	歴史総合	数学I	数学II	数学A	化学基礎	地学基礎	体育	保健	音楽I 美術I 書道I	英語コミュニケーションI	表現I ・	英語実践	情報I	※国際高リサーチ プロジェクト	HR									
1年																												
2年	文系	論理国語	古典探究	古語演習	地理探究	日本史探究	公共	数学II	数学B	数学C	生物基礎	体育	保健	英語コミュニケーションII	表現II ・	家庭基礎	※国際高リサーチ プロジェクト	HR										
3年	文系	論理国語	古典探究	古語演習	地理探究	日本史探究	政治・経済	公演習	数学B	数学C	数学演習	情報演習	生物演習	地学演習	体育	英語コミュニケーションIII	表現III ・	プロジェクト	※国際高リサーチ プロジェクト	HR								

フロンティアコース		1年次は基礎学力強化、2年次より3コースに分かれ、将来の夢の実現を目指します。																										
時間数	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33	国語	現代の言語文化	地理総合	歴史総合	数学I	数学II	数学A	化学基礎	地学基礎	体育	保健	音楽I 美術I 書道I	英語コミュニケーションI	英語実践	情報I	※国際高リサーチ プロジェクト	HR										
1年																												
2年	人文社会	論理国語	古典探究	古語演習	日本史探究	公共	数学II	生物基礎	体育	保健	英語コミュニケーションII	論理・表現I	家庭基礎	表現分析と	※国際高リサーチ プロジェクト	HR												
3年	人文社会	論理国語	古典探究	古語演習	日本史探究	郷土史入門	政治・経済	教養基礎	数学演習A	科学探究	体育	英語コミュニケーションIII	論理・表現I	家庭基礎	表現分析と	※国際高リサーチ プロジェクト	HR											

※「国際高リサーチプロジェクト」……「総合的な探究の時間」として課題探究に取り組みます。

総合的な探究の時間 国際高リサーチプロジェクト

本校では、2019年より「国際高リサーチ・プロジェクト」として、文部科学省が推進する探究学習を先行実施しています。令和7年度からは、1年次に「CORPORATE ACCESS（企業探究コース）」を取り入れ、7つの企業のインターン生として活動を進めています。各企業から与えられたミッションに取り組むことで現代社会にある様々な課題に目を向け、よりよい社会にするための新たな提案を模索していきます。また、グループで協力して活動することで、互いのアイデアを共有しより良いものを追究する姿勢の育成を目指しています。2月に実施されるクエストカップへの出場が最終目標です。2年次は、希望進路やSDGsに関連付けた個人研究を行い、夏休みにはフィールドリサーチやインタビュー調査を実施、3学期には論文としてまとめます。3年次には研究論文をさらに深めながら、将来を見据えた「進路探究」へとつなげていきます。



過去3年の進学実績 主な合格大学と合格数

※令和6年度

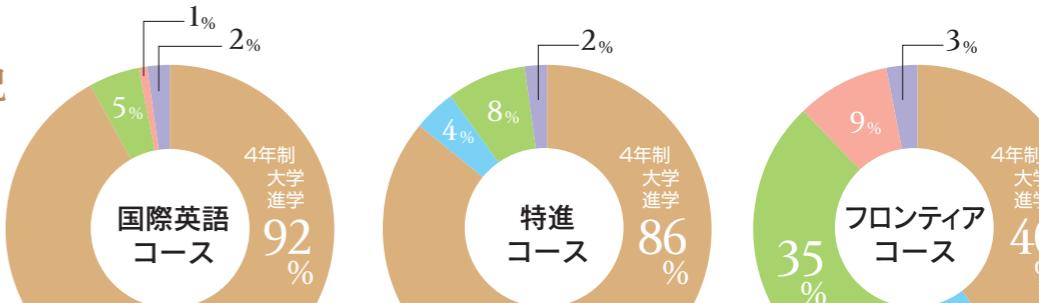
大学名	令和4年	令和5年	令和6年	大学名	令和4年	令和5年	令和6年	大学名	令和4年	令和5年	令和6年
国立大学											
富山大学	3	5	4	早稲田大学	1			慶應義塾大学	1	4	2
秋田大学		1		筑波大学	1	1		上智大学	3	3	1
宇都宮大学	1			青山学院大学	3	1	1	学習院大学			1
お茶の水女子大学	1	1	1	東京外国语大学		1		中央大学	4	4	
新潟大学	1	1		法政大学	2	3	5	金沢大学	1	1	2
金沢大学	1	1	2	立教大学	5	2	2	福井大学	1		
立教大学				関西大学	4	3	3	信州大学	2	2	2
関西大学				関西学院大学	2	2	2	和歌山大学	3	1	3
和歌山大学	1			同志社大学	1			立命館大学	6	10	10
立命館大学	1			国際基督教大学				津田塾大学	2		1
私立大学											
富山県立大学	1	5	1	東京女子大学		2	3	鶴路公立大学	1	4	6
横浜市立大学	1	1		名古屋外国語大学	8	3	6	公立小松大学			2
都留文科大学	3	2		京都外国语大学	2	1	2	長野県立大学	3		
長野大学	1			中京大学		5	2	立命館アジア太平洋大学	2	2	3
静岡文化芸術大学				富山国際大学	23	29	17	福知山公立大学	1	1	115
名桜大学				その他	115	134	144				

学びが進路に直結。
上級校への進学に強い国際高です。

卒業生の進路状況

※令和6年度

4年制大学
短大
専門学校
その他（浪人・海外進学予定）
就職



SDGsと課題探究 持続可能な未来へ向け、自ら考え、行動する。



国際英語コース

International English Course

国際英語コースの特長

英語特進 クラス

英語が大好き! 海外に興味がある人のクラス

3年間で国際的な視野を身につけた生徒を育成し、国際関係分野の国公立・難関私立大学進学に向けての指導を行います。また海外で英語に直接触ることでコミュニケーションの幅を広げ、幅広く異文化を理解する機会を提供します。

- 1年次に2~3週間週間のアメリカ英語研修に参加
- 2年次に韓国で2週間の英語研修に参加
- 年間10回程度の国際理解講座を受講

留学特進 クラス

県内でただ1つ! 長期留学者のためのクラス

1年次の2~3週間にわたるアメリカ英語研修を経て、2年次に海外の高校に1年間の留学。帰国後はそのまま3年生に進級(3年間で卒業できます)。

留学経験を活かし、国際関係や語学系の国公立・私立大学、海外の大学など幅広い分野への進学が可能です。

また留学奨学生制度※もあり、留学へのバックアップも万全です。※要項参照



オンライン会議で姉妹校と交流

英語の楽しさを 国際高で実感しよう。

卒業生からの メッセージ

国際英語コース・英語特進

堂川 芽生

お茶の水女子大学/文教育学部

芝園中学校出身



国際英語コース・留学特進

本江 瑠華

金沢大学/人間社会学域

南星中学校出身



国際英語コースでの3年間は、世界に対する視野を大きく広げ、自分の考えを持って行動する力を養うチャンスにあふれています。卒業した今、それを実感しています。

グローバルスタディーズの授業では、世界の社会問題について学び、考えを深めることができました。国際色豊かなクラスメートと行ったディスカッションやプレゼンテーションでは、英語で意見を伝え合うことで新たなアイデアや解決策を生み出す楽しさを知りました。また、5日間の英語漬けのエンパワーメントプログラムやアメリカ研修では、生きた英語に触れ、もっと自分の英語力を高めたいという強い意欲が湧きました。

2年次には、カナダへの長期留学に挑戦しました。様々な国籍の学生と授業を受けたり、ホームステイを経験したりする中で、英語力だけでなく、多様性や異文化を尊重することの重要性を実感しました。また、現地でのボランティア活動を通して、異なる年齢や国籍の人々と触れ合い、自分の将来について考える貴重な機会となりました。カナダでの経験は、私に「挑戦する勇気」と「広い視野」を与えてくれました。帰国後は、日本の多文化共生社会実現に貢献したいという目標を持ち、金沢大学国際学類への進学を決意しました。

この3年間を振り返ると、「知り、考え、行動する」ことの大切さを学んだと感じています。先生方の温かく手厚い指導や仲間との絆、そして留学という貴重な経験を通して、自分の未来に向けて大きな一歩を踏み出すことができました。

国際英語コースでは、グローバルな視点で自分の興味を追求する機会が豊富にあります。この3年間は、「新しい自分に会える時間」となるでしょう。学習だけでなく、将来につながる貴重な経験が詰まった高校生活を過ごしてください。

在校生からの声 国際高のおすすめ /



福岡中学校
出身

国際高校のいいところは国際交流が盛んであるところです。ホームステイを受け入れたり姉妹校に訪問できたりします。実際に自分も韓国とニュージーランドからの生徒を受け入れました。短期間ではあるけど友達と有名な観光地に行ったり、外国の友達といろんな楽しい経験ができます。外国人の友達は普通に過ごしているとそう簡単にできるものではないけど、これらの経験や、長期留学として学校に通っている生徒と交流したり、たくさんの外国の友達を作ることができます!



小杉中学校
出身

国際高には留学プログラムがあります。海外からの留学生を受け入れているので、ネイティブの人と話したい、海外の文化について聞きたいという人にとってはチャンスになります。

保護者からの声



R6年度卒業生 奥原旭祐
上智大学 外国語学部 英語学科／小杉南中学校出身
保護者 奥原 恒治さん

息子は高校留学を経て大学に進学したいという思いがあり、国際大付属高校を選びました。ただ、志望大学は入学時点では決まっておらず、第一志望として上智大学を意識したのはそれほど早くなかったように思います。両親ともに推薦入試をよくわかっていない上に、受験する大学の英語資格試験の基準をクリアできるのかという心配もありました。

親としては大学受験のことが常に気になっていましたが、3年間を通して感じたのは、この高校で与えられる様々な教育機会には無駄なものがなく、息子の人としての成長の流れの中に極めて自然な形で受験があったということです。生徒の資質を伸ばすための機会が多く、質も高いように思います。

入学してから留学期間を経て卒業まで、先生方の生徒に対する教育姿勢や生徒同士の雰囲気など、三者面談や文化祭などを通して垣間見るだけでも、息子の高校生活が充実していることがよく見て取れました。息子が国際大付属高校を選んでくれたこと、また、その思いに応えて余りある教育機会を与えてくださったことに感謝しております。





特進コース

Advanced Course

特進コースの特長

理系

質問中心のマンツーマン指導 「理数」を徹底的に強化

理・工・医学部などへの進学に向け、理科、数学の授業を強化。疑問点が解消するまで、時には基礎に戻り、マンツーマンで指導。丁寧な授業と、きめ細やかな問題演習の実践が、志望校への合格を勝ち取りります。

文系

答案の徹底的見直しによる 個別指導で「国際社」の実力アップ

人文・社会・語学系の学部への進学を目指して、文系科目の授業で実力養成をはかります。また、課題図書・小論文模試などを通じて、受験での小論文にも対応できる豊かで正確な表現力を身につけます。

大学探究講座

国立大学などから講師を招き、「大学の様々な魅力や最先端の研究を分かりやすく伝えること」をテーマに、年に10回程度実施しています。大学での学びの姿勢にふれることができ、生徒の探究心の向上につながります。



講師を招いての特別講座

意欲と継続が、力を伸ばす。

卒業生からの
メッセージ

特進コース・理系

林 翔一郎

法政大学/情報科学部

吳羽中学校出身



特進コース・文系

飛鳥 慧子

国際基督教大学/教養学部

中田中学校出身



国際高校に進学して良かったことは、他の高校に比べて圧倒的に国際的な交流の機会が多かったです。私は英語が得意ではありませんでしたが、1年次のエンパワーメントプログラムでオールイングリッシュのプロジェクトワークに取り組み、5日間の研修を通じて大きな成長を感じました。2年次の研修旅行では、初めての海外となるシンガポールを選択しました。異国の文化に触れ、驚きや発見が多く、貴重な体験となりました。また、weblio英会話ではオンラインで海外の人と対話し、密度の高い英語学習を進めることができました。留学生との交流も豊富で、貴重な出会いの機会を得ることができたと実感しています。

進路実現に向けては、2年次の4月から受験勉強を本格的に開始しました。まずは英語と数学に集中し、毎日少しづつ参考書を開いて問題を解き、基本的な解法を確実に理解することを心がけました。特に数学では、公式を覚えるだけでなく、高校数学の範囲で自力で導出できるものは自分で導出し、数学を本質的に理解して応用力を高めることができました。2年生の段階で数学と英語の基礎を固めていたため、3年次から本格的に取り組んだ物理の学習にも余裕を持って励むことができました。夏休み前には、数学と英語の基礎をほぼ完成させ、夏休み以降は理科の学習や共通テスト、大学の過去問題演習に多くの時間を費やしました。過去問題を解くことで出題傾向を把握し、時間配分や解答力を磨きました。問題を解いた後は自己分析を行い、間違えた問題や理解が不十分な部分を徹底的に復習しました。

こうした努力を重ね、私は希望する大学に合格することができました。これは、国際高校でのかけがえのない時間があったからこそ実現できたものだと強く感じています。皆さんも、自分の将来につながる様々な経験を、国際高校で積み重ねていってください。

私の高校生活は、多くの壁にぶつかり、その度に悩みながらも前進し続けた3年間でした。「自分を変えたい」という強い気持ちで高校生活のスタートを切った私は、生徒会執行部や課外活動、検定取得に積極的に挑戦しました。しかし、自分の成長を実感できないこともあり、悔しさを感じる時期もありました。そんな私を支えてくれたのは、国際高校で出会った多くの人々でした。憧れの先輩や仲間、的確なアドバイスをくれる先生方に励まされ、自分の目指す姿に少しずつ近づけたと思います。

特に、生徒会執行部での活動は私にとってかけがえのない経験でした。アフターコロナの学校行事として、「人と協力する楽しさを皆で共有したい」という思いから新しい文化祭企画を立ち上げました。決定すべきことは多かったですが、同じ目標を持つ仲間と励まし合いながら進め、文化祭当日には学校中に笑顔が溢れ、達成感と喜びを感じました。この経験は受験期にも活かされました。

希望の進路を実現できたのも、やはり、周りの方々の励ましがあったからです。受験はチーム戦でした。苦しい時期もありましたが、周りの頑張る姿に刺激を受け、前進する勇気を持ち続けることができました。その結果、入学当初は夢でしかなかった「合格」を手にすることができました。合格を報告したとき、みんなが自分のことのように喜んでくれたことが本当に嬉しかったです。私も、共に戦ったクラスメイトの合格を知ったときは、心から嬉しく思いました。

国際高校で過ごした3年間は、いろんな思いが詰まつた濃いものになりました。仲間と切磋琢磨しながら夢に向かって突き進める環境が整っているのが、この学校の魅力です。自分の思いに正直になり、皆さんも選んだ道で素晴らしい思い出を作ってください。

在校生からの声 国際高のおすすめ



色々なチャレンジや、貴重な経験がたくさんできます。
部活動で勉強など国際でenjoyしませんか!?

スキルやコースに関係なく国際交流できる
部活動と勉強の両立ができる

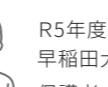
新湊中学校
出身



勉強は大切ですが、国際ではそれが全てではないので、
自分の頑張りをしっかりと認めてくれます。

大学入試では先生が手厚くサポートしてくれるのでおすすめです。

保護者からの声



R5年度卒業生 城岡奈津海
早稲田大学 社会科学部 社会科学学科／速星中学校出身
保護者 城岡 真さん

富山国際大学付属高校は生徒の主体性を重視し、育てていただける学校です。入学した時には、何もわからず、目標も特にきまっていない状況でしたが、普段の行動から長所を見つけ出し、伸ばしてもら
事ができ大学に進む事が出来ました。その際の進路の相談についても、志望校の選定や対策などとても
親身になって対応してもらいました。また各種学校行事でも生徒たちの意見を重視して行われていると
感じています。

授業の他に、模試や検定等もあり、本人も最初はその多さに驚いておりましたが、それも進路を考
える上では必要な事であり、スキルアップへと繋がりました。そんな学生生活の中で、時には学校へ行
きたくないと言う時もありましたが、卒業する頃には、「本当に富山国際大学付属高校に通って良かった」と
言っていました。親としてみても、高校生活の3年間がとても充実し、成長する事ができた期間だったと
思っています。





フロンティアコース

Frontier Course

フロンティアコースの特長

進路

併設校をはじめ、ほとんどの生徒が大学・短期大学に進学

3年間を通じて行われる進路ガイダンスや担任の先生との面談によって、自分の進路・適性を見つけていきます。向学心をもって自分の将来に向かえれば、国公立大学や難関私立大学にもチャレンジしていくことができます。富山国際大学や富山短期大学への併設校進学も選択肢の一つとなります。

基礎強化

親身になってくれる先生のきめ細やかな指導

学力に応じた細やかな授業で、苦手教科も克服。2年次からは理数系に力を入れた自然科学類型、英語重視のグローバル類型、人文・社会科学分野の学びを深める人文社会類型など、進路実現に向けたさらなる選択を行います。



弱点強化をしっかりサポート!

体験と発見が、道を拓く。

卒業生からのメッセージ

フロンティアコース
人文社会類型
浦田 華怜
富山短期大学
経営情報学科
大泉中学校出身



私は国際高校で、目標を定め計画的に行動することの大切さを学ぶことができました。入学当初はどう勉強すれば良いのかわからず、定期テストではあまり良い点数が取れずにいました。しかし授業や定期テストを重ねていくにつれ、テストの出題傾向を理解し、テストに合わせた学習方法を見つけることができました。さらに定期テストを通じて普段からコツコツ勉強することの大切さに気づくことができました。そのおかげで復習や予習をするクセがつき、定期テストの点数が伸びるようになりました。

私は1年次には短期大学への進学を視野に入れており、合格するために日々勉強に取り組んだり、自分のできそうなボランティアを探し、積極的に参画したりと努力してきました。ただ定期テストの点数だけが全てではなく、普段の課題や提出物にしっかりと取り組むという当たり前のことを当たり前にできるようになることも自分の身になると思います。

さらに私は部活動にも力をいれています。部活動では同学年だけでなく、他学年の生徒や先生、さらに学校外の方と関わる機会が多くありました。普段あまり関わらない方と積極的に話すことで新たな考えに触れ、視野を広げることができました。勉強だけではなく、部活動やボランティアなどを積極的に行なうことも充実した学校生活の一因になると思います。

この国際高校でみなさんが充実した学校生活を送れることが願っています。

様々な「学び」を通して、今まで気づかなかった自分を発見し、目的達成に向けて大きく前進できるコースです。

1年次は基礎学力の定着をテーマに、数学や英語などの科目をしっかりと実力UP。

2年次からは進路を見すえ専門分野にも挑戦し、夢の実現を目指して頑張るコースです。

フロンティアコース 自然科学類型

丸山 瑞太郎

富山県高岡看護専門学校

看護学科

大門中学校出身



私は高校3年間、明確な目標を原動力として努力し続けました。入学当初は目標が定まらず、なかなか勉強に意味を見出しができず、焦る日々を過ごしていました。そこで、一つ一つの課題に目標を設定し、達成を意識しながら取り組むことにしました。初めは小さな目標を立て、できることから始めてことで、少しずつ自分に合った勉強方法を見つけることができました。

また、所属していた弓道部では、自分のペースを崩さないようにスケジュールと目標を立て、向上心を持って努力しました。部活動と勉強の両立は大変でしたが、仲間と協力し合い、メリハリをつけて励むことができたのは、弓道で身についた集中力のおかげだと感じています。

さらに学校外での活動にも積極的に参加しました。私が進路を決めたきっかけは、ボランティア活動の一環として行った老人ホームの方々とのオンライン交流です。

この交流を通じて、日本の少子高齢化問題や介護士・看護師の人材不足を実感し、看護の道を志すようになりました。進路変更は三年生の夏ごろと急でしたが、友人の支えや先生方の小論文指導・試験勉強サポート、面接練習のおかげで、希望の進路に進むことができました。

このように、国際高校では部活動や学校内外の活動を通じて学び、視野が広がるとともに、新しい価値観に触れながら自分を成長させることができました。これから入学する皆さんも、高校で得た経験を活かし、友人とともに成長できる3年間を送ってください。

在校生からの声 国際高のおすすめ



全教室に2個のプロジェクターが設置されていて、授業がわかりやすい。給水機が設置されている。
富山大学教育学部附属中学校 出身



自由度が高く、のびのびと学校生活を送れます!
城山中学校 出身



国際高は校舎内が綺麗でコンビニがあります。食堂のご飯も安くて美味しいです。
トイレには手を乾かす機械があり、各階ごとに給水機、教室は冷暖房完備で夏も冬も快適です。エレベーター やスロープもあるため、身体が不自由な方でも簡単に校舎内を移動できます。
南星中学校 出身





グローバルに活躍する人材を育成するための環境があります。

先進的な国際交流活動と国際理解教育の取り組みが評価され、文部科学省よりSEL-Hi(先進的英語教育法の研究開発指定校)の指定を受けて以来、英語授業と学校行事と国際化をからめた独自のプログラムの研究開発を行なってきました。富山県初のユネスコスクールに認定され、ESD(持続可能な発展のための教育)の理念に基づいた授業や課外活動を展開し、SDGs(持続可能な開発目標)の実現に貢献するグローバル人材の育成に努めています。

1.国際理解講座

年間10回程度実施。主に国際的な援助活動についての講演や、オールイングリッシュでのワークショップなどを実施し、国際的な視野を広げ、生きた英語を学ぶ機会を提供しています。

2.海外留学生受け入れ

毎年、短期・長期含めて年間50名程度の留学生を受け入れています。ホストファミリー体験や交流を通じて異文化理解を深めるとともに、英語を使う機会を提供しています。

3.姉妹校・協力校との相互訪問とオンライン交流

世界6か国9校の姉妹校、3校の協力校との相互訪問やオンライン会議アプリを使った交流で、授業や課外活動で研究した成果の共有や獲得した英語力を試す機会を提供しています。

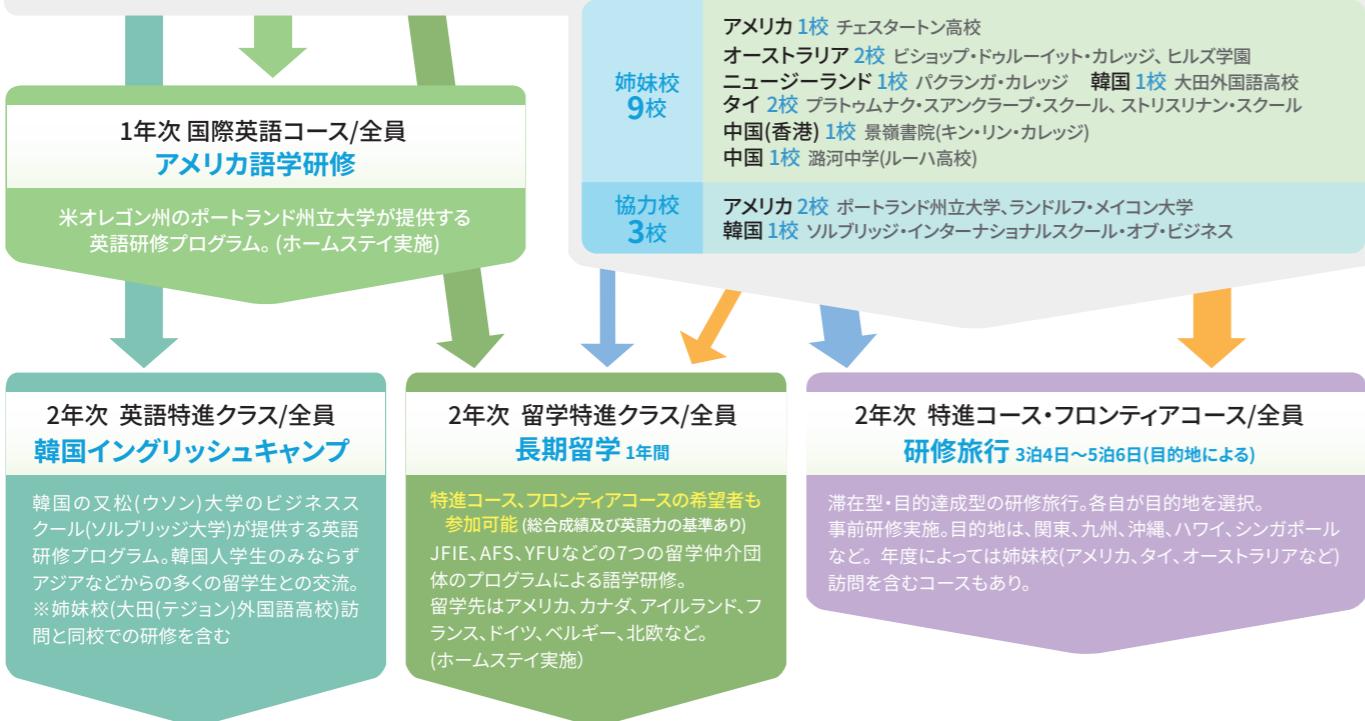
4.独自の海外研修

国際英語コースの1年生は、アメリカで2~3週間のホームステイをしながら語学研修をします。今年で平成4年の国際英語コース発足以来32回目を数えます。また、同コース2年生は韓国で2週間のイングリッシュ・キャンプに参加します。2年生の研修旅行は、滞在型・目的達成型で生徒がそれぞれの目的地を選択し事前研修を行います。令和6年度はシンガポール、フィリピン、関東、九州で実施し、136名の生徒が海外へ出かけました。



3年間を通じて(基本的に)どのコースの生徒でも毎年体験するプログラム

国際理解講座(地球のステージ)、国際理解講座(地球のステージ以外)、Global Studies Program(グローバルスタディーズプログラム)、海外留学生受け入れ(ホームステイ)、姉妹校の生徒受け入れ(ホームステイ)、姉妹校・協力校とのオンライン交流



国際交流実績

※下記の数字は令和6年度の実績です

多文化共生

14カ国¹の生徒が机を並べて学んでいます。
様々な国からの留学生とともに過ごすことで、国際的な交流を身近に感じることができます。

姉妹校交流

国際高の姉妹校や協力校は世界各地に全12校もあります。交流も活発で、数多くの生徒が国境を越えて視野が広がる経験をしています。

●姉妹校での交流活動参加者 112名

留学の推奨 海外研修

国際高は留学生の派遣や受け入れも積極的です。海外への研修旅行にもたくさんの生徒が参加し、かけがえのない経験を積んでいます。

●長期留学生 16名

ニュージーランド 姉妹校研修

ニュージーランドの姉妹校研修「パクランガ・カレッジ」を13名の生徒が訪問し、ホームステイで滞在しながら授業を受けました。

第31回 アメリカ研修

国際英語コース1年生51名が参加し、ポートランド州立大学でのISPプログラムを受講しました。

第11回 韓国研修

国際英語コース2年生32名が参加し、ソルブリッジ・インターナショナルスクール・オブ・ビジネスで英語トレーニング講座を受講しました。また、姉妹校の大田外国语高校を訪問し、異文化交流を行いました。

NZの姉妹校、
パクランガ・カレッジが
本校を訪問し、
ホームステイにより
滞在しました。

2025年4/15~4/22(8日間)



寿司握り体験では、富山湾のネタでお寿司を握りました。



生徒はみんなとても仲良くなれて、英会話も上達しました。



弓道部員が指導する弓道体験



1-Day Bus Trip で富山市や射水市を観光

留学生からの
メッセージ

本校 >>> ドイツ
宮川 篤志
速星中学校出身

オーストラリア >>> 本校
オークリー・ポール

私はドイツ北部のハンブルクに住んでいます。ハンブルクは運河や湖、緑地が豊富で、水面と緑地が街の半分以上を占めているため、「水と緑の都」と呼ばれています。多くの人がウォーキングやサイクリングを楽しみ、自然に癒されています。私はここで「ギムナジウム・ブックホーン」という学校に通っています。ギムナジウムとは大学進学を目指す中等教育機関で、授業は80分と長めですが、生徒たちはとても積極的で、発表や質問が活発に行われています。日本のように全て時間割が決まっているわけではなく、いくつかの時間は自分で授業を選択することができます。先生はスライドを使い生徒に説明し、生徒はiPadを使ってノートを取りなど、ICTの活用も進んでいます。

ドイツは移民の多い国で、外国人向けの授業も整っており、私もドイツ語クラスに参加しています。休み時間にはパンを買ったり、昼休みに友達と名物のソーセージを食べに行くことができます。放課後や週末はホストファミリーと料理をしたり、観光や買い物に出かけたりと、毎日が新しい発見の連続です。ドイツの文化や習慣に触れることで、自分自身の視野が広がり、日々新しい発見があるのを楽しんでいます。

言葉や文化の違いに戸惑うこともありますが、多くの友人や温かいホストファミリー、学校の先生の支えがあり、異文化の中で成長している実感があります。海外留学は、語学力だけでなく、自分の視野を大きく広げてくれる貴重な機会です。ぜひ皆さんにも、このような素晴らしい経験をしてほしいと心から思います。

私はオーストラリアからの交換留学生です。日本での生活はさまざまな面で素晴らしい経験となっています。中でも、富山国際大学付属高等学校での学校生活は、私の交換留学を素晴らしいものにしてくれている大きな要因の一つです。

私はこの学校がとても好きで、生徒も先生も皆とても親切です。英語を母語とする私にとって、日本語を学ぶ上で、周りに助けてくれる人がたくさんいるのはとても助かっています。

日本の学校の時間割は、授業の間に10分間の休み時間があるなど、とても過ごしやすいと感じています。また、国際生として、日本語のレベルに応じた特別授業も用意されていて、学びやすい環境が整っています。

この学校では、英語を学んだり、英語コースの一環として海外へ行ったり、年末には沖縄や東京への旅行に参加したりと、たくさんのチャンスが与えられます。

今までの学校生活は本当に楽しく、これから1年もとても楽しみにしています。(ポールさんの日本語原文のまま)

部活動

国際高は
部活も活発!

全国優勝が目標の部、全国大会出場が目標の部、みんなで
ワイワイ仲良く楽しくやりたい部、自己表現ができる部活動
がそろっています。
(令和6年度実績)



バスケット
ボール
(男子)



バスケット
ボール
(女子)



テニス
(男子)



テニス
(女子)



弓道



サッカー
(男子)



サッカー
(女子)



バドミントン
(女子)



バレー ボール
(女子)



卓球



柔道



野球



英語



放送



美術



家庭



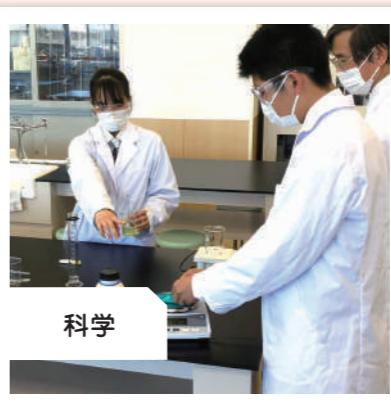
イラスト



メディア・
テクノロジー



新聞



科学



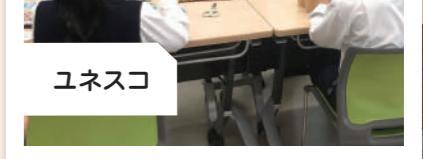
書道



吹奏楽



茶道



ユネスコ



水泳



全国JOC ジュニア
オリンピックカップ 1位
日本選手権 2位
インターハイ 3位



部活動

学校生活

School Life

笑顔いっぱいの、楽しい毎日が待ってるよ！

きれいな校舎の国際高を舞台にはじまる、きらきら輝くような日々。
笑ったり、泣いたり、汗を流したり、かけがえのない友達との出会い、そして
自分の夢をみつけていく、そんな笑顔あふれる高校生活が君を待っています。

体育大会



4団編成で、競技・応援・デコレーション・衣装の
4部門で総合優勝をめざします。



全校生徒が熱く燃える！



研修旅行



2年次に海外3コース、国内3コースの中から各自が行き先を選択し、事前研修を積んで出かけます。また、ユネスコスクールとしてのフィールドリサーチを行ないます。

芸術鑑賞



眞の国際人を目指すため、古典芸能や演劇などを鑑賞し、豊かな感性を養います。

海外か
国内か?
悩む~

地球のステージ



国際医療支援活動を展開している桑山紀彦さん
の映像・スライド・弾き語りを織り交ぜたライブ音楽
を通じて、国際支援活動に関する学びます。

文化祭



ステージ発表やクラス展示などで、国際高全体で文化に親しむと同時に、
SDGsへの学びを深める国際高がい、1日を過ごします。みんなで楽しもう！

最高に
楽しいよ！



屋台めぐりも楽しい！

国際理解講座



NGO団体や海外ボランティアに参加された方の
体験などを聞き、グローバルな視野を広げます。

学校生活



エントランスには留学状況がわかる世界地図があるよ



人工芝の雨天練習場は雨の日も快適！



筋トレ室で
筋力UP！



なんと校内は外履きのままでOKなんです

きれいな
校舎も
自慢です

国際高校舎 GUIDE

Check!

いつも明るい笑顔があふれている国際高。
晴れた日の教室の窓からは立山連峰の
素晴らしい眺めが望めます。
本校ならではの利便性にとんだ快適な環境が、
楽しい高校生活をサポートします。



国内TOPクラスの充実したICT環境・設備

全教室に デュアルプロジェクターと ホワイトボードを完備

全生徒・全教員がiPadを所持している国際高では、校内のすべての教室に2台のプロジェクターと、プロジェクター映像対応のホワイトボードが完備しています。プロジェクターを駆使した課題発表の授業もスマートに。チョークを使わない新しい授業スタイルが国際高のスタンダードです。

全館高速Wi-Fiで快適な通信環境

全校生徒約900名が同時接続可能な高速Wi-Fi環境で、インターネットを使った授業もストレスフリーです。



全教室にデュアルプロジェクターとプロジェクター投影対応ホワイトボードを設置

校内に張り巡らされた無線LAN

エントランスと各フロアに各種連絡を伝えるデジタルサイネージを設置



SDGsを自発的に実践

エントランスに設置されたSDGsパネルには本校の取組目標が掲示されています。また、校舎内のあちこちにSDGsシールが貼られ、生徒自ら日々意識し、実践しています。

多目的トイレには『すべての人に健康と福祉を』と『安全な水とトイレを世界中に』のSDGsシール。



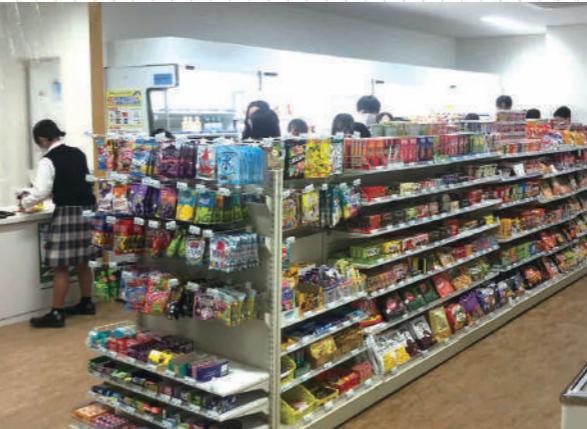
地球環境の保護につながるボトル給水機

マイボトルに給水すると、給水回数がペットボトルの数で表示される機能により、どれだけペットボトルの削減に寄与できたかが一目でわかるようになっています。



全館洗浄機能・温水暖房便座付き洋式トイレ

校内のすべての水栓は、手をかざすと反応するセンサー付きのタッチレスなので衛生面も安心して使えます。



学内にコンビニがあります

休み時間にも利用でき、文房具や昼食の購入もできるのでとても便利です。



400人収容可能な大きな食堂

ランチタイムは友達や上級生たちとも楽しく過ごせます！

食堂のメニューは
食券で購入



各フロアに個人ロッカー

鍵付きの個人ロッカースペースは、荷物が整頓できてスッキリ！



「新聞大学への入り口」コーナー

全国紙3社、地方紙2社(計5社)の新聞や、英字新聞を自由に読むことができます。新聞は大学に匹敵する多様な知識と学びを教えてくれます。



アートギャラリー

エントランスホールや廊下には、絵画や彫刻など多彩な作品を展示しています。アート鑑賞で美的感性を磨こう！



ゴミ箱でECO意識UP！

各教室にはゴミ箱がなく、各フロアに一つだけ。ゴミを出さないことでエコに配慮できるようになります。



図書室



面談室



グループ学習室



国際交流室



調理室

国際高の制服



女子生徒のスラックスも人気！
ネクタイも自由に選べます

21世紀に必要なICTスキルを身につける。 最先端テクノロジーを使ったICT教育

国際高のICT教育は10年を越える実績があります。

POINT 01 高等学校DX加速化推進事業 (DXハイスクール) 「Regenerative Design High School」

本校は文部科学省のDXハイスクールに認定され、データサイエンス・人工知能・ロボティクスの3分野を中心に情報の授業で学び、新しい社会の構築を実践しています。SDGsやサステナビリティは、さまざまな環境資源の消費を抑制または禁止することで、未来への環境負荷を最小化しようとする試みです。これに対し「Regenerative Design」は、自然の回復能力を高め、再生能力を構築することを目標としています。「どのように自分たちで再生産 (regenerative) できるか」へと転換し、理想の社会を主体的に構築しようとする考え方です。DXハイスクールの最大の目標は、この理念に沿って「テクノロジーを使って『未来をしかける』高校生」の育成を目指しています。

プロジェクト1 「Nature Positive」は、2030年までに生物多様性の損失を食い止め、2050年までに自律的な回復軌道に乗せることを目指す国際的な枠組みです。これを実現するため、校舎屋上に農園を作り、野菜を育てながら生物多様性の向上に取り組みました。1メートル四方のポッドを設け、植物同士が相互に好影響を与えながら成長する協生農法を取り入れ、10種類以上の苗を密植して育成しました。また、各ポッドには小型コンピュータの Raspberry Pi を設置し、気温・湿度・土壤水分量などの環境データを収集してクラウドデータベースに逐次記録できるようにしました。インターネット通信には、人工衛星を利用するStarlinkを活用しました。さらに、アーム付きロボットを巡回させ、OpenCVで葉の面積を算出することで、生育状況を観察しました。ロボットを実際に見たことがない生徒も多かったため、ロボットとの共生社会を考える機会として、大型ロボットaiboと自由に遊べる環境を校内に設け、生活の中でのロボットと人工知能のあり方を授業で検討しました。文明が自然とどのように融合していくべきかという問い合わせに対しては、アイヌ民族の自然観にヒントを求め、代表生徒たちと国立アイヌ民族博物館を訪問し、そこで得た学びを屋上農園の運営に活かしました。



プロジェクト2 ヘルスケアプロジェクトでは、スマートフォンに記録された歩数データを持ち寄り、生徒自身および学年全体の歩数傾向をプログラミング言語Pythonで分析しました。さらに、慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科の小熊祐子先生をお招きし、WHOや国内の健康政策について学ぶ機会をいただきました。1年間の分析結果は、富山大学の「とやま探究フォーラム」と慶應義塾大学の「KEIO Sports SDGsシンポジウム2025」において、代表生徒が研究発表を行いました。



POINT 02 AIを活用したICT教育の 新たな可能性

人工知能やロボット、3Dプリンターなど人工知能を楽しく学べる授業や、大型ロボットのaiboと一緒に遊んで人間とロボットの関係を考えたり、iPadで作ったデザインを出力できる3Dプリンターを設置するなど、未来の社会で必要なものを実体験しながら学べます。情報の授業では、2016年から人工知能の教育をスタートし、カメラに映った物をコンピュータが認識する物体認識や、歩行や運動などの姿から適切な姿勢かどうかを推定する姿勢推定など、様々な技術を実体験しながら人工知能の仕組みを学んできました。また、2023年からは生成AIを使った授業も始まっています。

POINT 03 クラウドを早期導入して 勉強を活性化

2011年からクラウド化を開始し、全国の学校に先駆けてGoogle Workspaceを導入しました。生徒全員がEメールアドレスを持ち、インターネット越しに様々なサービスを使っています。他にもAdobe Expressを使ったクリエイティブな作品制作、PythonやRなどのプログラミング、データサイエンス、人工知能を学べる環境が整っています。また、学習記録やまた、学習記録や成績を確認できるClassiを活用し、担任や教科の先生とやりとりしながら、成績の向上と苦手の克服を実践しています。今後の大学入試に必要になる活動報告書も生徒全員がすでに実践中です。



POINT 04 プログラミングやデータ分析など 21世紀型スキルで獲得した数々の実績

慶應義塾大学主催
「データビジネス創造コンテスト」
3回連続 最優秀賞

データ分析で問題を探り、テクノロジーを使った問題解決案を発表しました。東京大学や早稲田大学など、全国有名大学と競い合い、3回連続で最優秀賞を受賞しました。

慶應義塾大学大学院との
共同授業開発

情報Iの授業では、慶應義塾大学大学院の研究室と「ヘルスケア×テクノロジー」をテーマに、生徒の歩数データを使った授業を展開しています。自分の歩数データを分析し、将来も健康で長生きするための行動変容、政策提言をまとめています。

同志社大学との移植医療に
に関する共同研究

移植医療普及のためにテクノロジーを使って人々の関心を集め、臓器提供意思表示を促す活動を同志社大学と5年間連続で行なってきました。



POINT 05 人工知能から仮想現実まで 最先端テクノロジーを凝縮した情報室

最も新しいICT設備が、情報室に凝縮されています。アクティブラーニングを前提とした教室で、Surface Pro、Surface Studioを使ってプログラミング、データ分析を学んでいます。また、VR（仮想現実）やAR（拡張現実）、人工知能、3Dプリンター、IoTなど、最先端のテクノロジーを使って諸問題を深く探究できます。

POINT 06 基礎からしっかり学んで 思考と問題解決の道具にする

データ分析やプログラミング、iPadは、社会をより広く知り、より深く考えるための道具として考えています。自分の考えを世界に伝えるための道具にもなります。"iPad as a Language"（言語としてのiPad）というキャッチフレーズでこの理念を実現してきました。キーボードのタイピングやコンピュータの基本的な操作方法から勉強を開始し、応用的・実践的なツールとしてICTを学んでいきます。1年次の情報Iではデータサイエンスやプログラミングなど、ICTを使った科学的な思考方法の修得を目指しています。



メディア・テクノロジー部 卒業生のNEXT STAGE



国際高から有名大学に進学した生徒の、ICT活用の秘訣とは？

Q ICTに強くなるコツは、興味のある分野でコンピュータを使い、自分で作っていくことから始まります。絵が好きな人はコンピュータで描き、それをVRや3Dプリンターで使える3Dモデルにしてみましょう。数学が得意な人は、データ分析や人工知能に取り組んでみるのもいいかもしれません。コンピュータを使うことで、これまで出来なかったことが可能になり、自分の世界が広がります。こうして、好きなことが自分の研究テーマになります。

A 研究テーマをさらに深掘りしていくことで、高校卒業後のビジョンが明確になります。このビジョンが、志望校や大学での研究内容に繋がっていきます。まずはコンピュータを使って作ることから始めましょう。

慶應義塾大学
環境情報学部 2年
蓮谷 藍さん



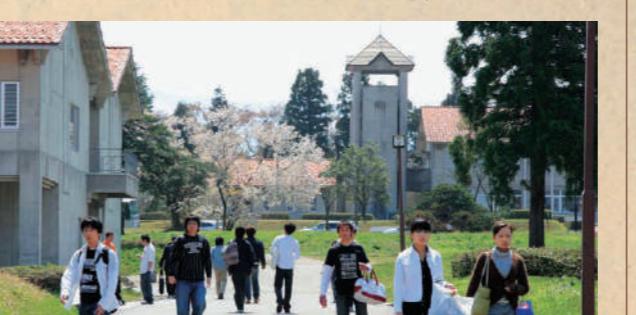
国際高でプログラムを学び、慶應義塾大学に入学、大学でも同じ研究テーマで学んでいます！

メディア・テクノロジー部でダンス運動を活用したヘルスケアを研究してきました。中学校では運動部でしたが、高校ではコンピュータの面白さに気づき、ダンスの動きを人工知能で分析して、健康に応用する研究を実践しました。腕や脚など身体の部分を人工知能が推定して運動量を計算するプログラムを完成させ、TikTokやYouTubeで公開されているダンスがどれくらいの運動量なのか、どれくらいのカロリー消費なのか推定できるようになりました。コンピュータが得意だったわけではありませんが、好きなことを実践していくなかで勉強し、大学の勉強会にも積極的に参加しました。高校時代の研究テーマを大学でも引き続き学んでいます。



国際高の学園内併設校

富山国際大学 国際化・情報化時代に即応し、富山県を支える人材の育成を目指して平成2年に開学。



富山短期大学 県内初の私立高等教育機関として昭和38年に創立。全国有数の総合短大として発展。



本校生徒は両学とも受験料(30,000円)・入学金(200,000円)が免除、併設校特別推薦枠の優遇制度があります。

現代社会学部 観光専攻・環境デザイン専攻・経営情報専攻・英語国際キャリア専攻の4つの選考を通して、これから社会が求める実践力と人間性を養います。近年は毎年30名以上が小学校教員に採用され活躍しています。

子ども育成学部 小学校教育、保育・幼稚教育、社会福祉における高い専門性とその基盤となる優れた人間性を養います。近年は毎年30名以上が小学校教員に採用され活躍しています。

経営情報学科 情報・経済・経営・会計などの専門分野における基礎教育をベースに、ビジネス実務教育、キャリア支援教育、インターンシップによる「三位一体のキャリア教育」によって就業力を育成します。

食物栄養学科 “一人ひとりが生涯健康に生きる”という願いに応えられる知識と技術を身につけた栄養士の養成を目標としています。

健康福祉学科 幅広い教養科目と各専門分野にわたる学習、幼稚園・保育所・その他の児童福祉施設などで実習をとおして、豊かな人間性を備えた資質の高い保育者の養成をめざしています。